

# 早急なコミュニティ構築に協力を

## まずは交流会を開催する

**問** 災害公営住宅への移

転が増えているが、マンション形式の住居は山田町になじみがなく、コミュニティ形成に問題が生じている。自治組織がないことを住民の方々も気にしている。

**佐藤町長** きっかけづくりが大事という意見はそ

のとおりである。社協な

どと協力し、まずは住民交流会を実施予定。

**問** 3月5日現在、まだ交流会の日程が決まっていないようだが、28年度中の開催は可能か。

**上林企画財政課長** 日程を調整し28年度中には開催する。

**問** 自治等の活動は言い出した人がやらなければならぬ雰囲気になりやすいため、役場からのきっかけづくりは大切。しっかりと対応してもらい

たい。

次に中央団地の集会所に関して、自治組織ができるまでの鍵の管理はどうするのか。

**佐々木建築住宅課長** 町建築住宅課で管理予定。

**問** 役場は中央団地入居者にとつて遠すぎる。特に集会所の利用は高齢者が多く、鍵を借りるために往復するのは大変。せつかく近くにまちなか交流センターがあるの

で、そこで管理しては。 **建築住宅課長** まちなか交流センターでの管理については検討したい。

**問** 集会所にはまだ備品も入っていないが、いつころまでに整備予定か。机も何もないのでは利用もできない。

**建築住宅課長** 現在入札等を行っている。3月中には設置される予定。



議員 田老賢也 (無所属)



3月末に開催された中央団地住民顔合わせ

# 山田のご当地グルメを開発しては

## 一過性のものにしらない体制づくりが重要

**問** 本町の売りは海産物・農産物だが、最近

他地域との競争が激しい。カキ小屋も本町の売りだったが、最近では沿岸のみならず都市部にもある。観光を盛り上げるために、山田ならではのメニューを開発してはどうか。

全てを役場がやるのは不可能なので、メニュー募集等のきっかけづくりと、審査する体制づくりの後押しができないか。

**町長** 一過性のものにしないうちに継続したPRが必要。実施の可能性や手法について検討する。